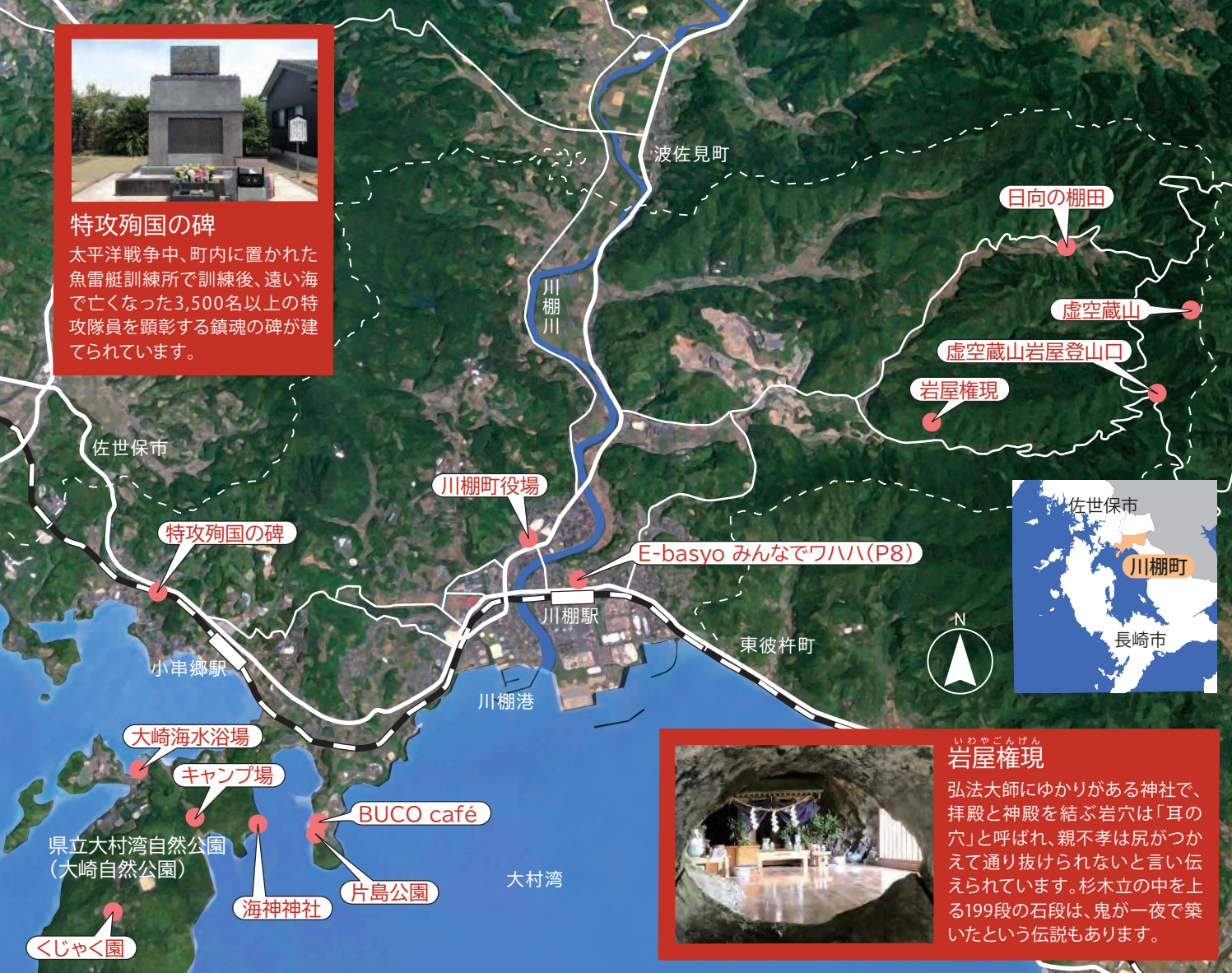




### 特攻殉国の碑

太平洋戦争中、町内に置かれた魚雷艇訓練所で訓練後、遠い海で亡くなった3,500名以上の特攻隊員を顕彰する鎮魂の碑が建てられています。



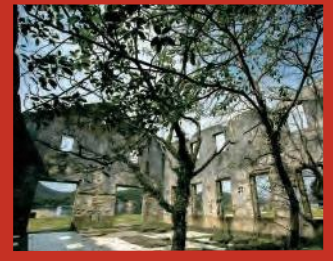
### 岩屋権現

弘法大師にゆかりがある神社で、拝殿と神殿を結ぶ岩穴は「耳の穴」と呼ばれ、親不孝は尻がつかえて通り抜けられないと言い伝えられています。杉木立の中を上る199段の石段は、鬼が一夜で築いたという伝説もあります。



### 県立大村湾自然公園 (大崎自然公園)

自然豊かな大崎半島をまるごと四季折々に楽しめるリゾートパーク。くじゃく園のほか、子ども向けの遊具がある広場やゴーカート場、海水浴場、キャンプ場、温泉施設などがあります。



### 片島公園

戦中に使用されていた魚雷発射試験場跡を公園として整備。廃墟となった建物は、映画の撮影などでも使用されています。

# つたえるけん 川棚町



### 虚空蔵山

標高608m。尖った頂上部が特徴で、町内のどこからでもその美しい姿を望むことができます。登山ルートが整備されているほか、木場登山道の途中に湧き出ている清水は、訪れた人の喉を潤しています。



### 日向の棚田

虚空蔵山の中腹に位置し、日本の棚田百選に認定された美しい棚田です。棚田では、豊かな清流を利用して米作りが行われており、四季それぞれの景観が楽しめます。



### 今月のつたえるひと 松隈 靖之さん

福岡県出身。デザイン会社「株式会社beer」代表取締役。2019年に福岡市から移住し、デザイン業の傍ら、川棚町三越郷で「BUCO cafe」や「シーカヤック体験施設 10歩Garage」を運営。「いろはにとまとプロジェクト」代表。

豊かな自然の中で大切に育まれた小串トマト  
おいしい料理になって川棚を元気にしています

## 川棚特産の小串トマトを町を元気にする起爆剤に

元々釣りが好きなこともあり、海が近いというロケーションが気に入って、福岡県から移住。美しいロケーションを生かしたいという気持ちから、カフェを開くことにしました。

移住して感じたのは、川棚は自然豊かで、他の町には負けない魅力がたくさんあるということ。その中の一つが、特産品の小串トマトです。味が濃厚で、うま味と甘み、酸味のバランスが良く、本当においしいトマトだと思えました。ただ、生産農家が5戸と少なく、収穫時期は1月から6月頃まで。販売されてもすぐに売り切れ、仕入れが難しいなど、飲食店で使うのは難しい状況でした。

そんな中、町の観光協会が土産品の開発を佐世保の和菓子店「草加家」に依頼。規格外の小串トマトを活用するアイデアが生まれ、生産者と交渉を重ね、低温濃縮製法でトマトのうま味を生かした「OGUSHI」トマトピューレが2021年に完成しました。このピューレの誕生で通年で小串トマトの料理の提供が可能となり、小串トマトのおいしさを広めようと、町内の飲食店・生産者・協力が連携して「いろは



小串トマトとトマトピューレ

にとまとプロジェクト」を設立し、私が代表を務めることになりました。現在12店舗において小串トマトを使ったオリジナルメニューを提供しています。昨年10月には「長崎モトプロガー会」と合同で小串トマトフェスティバルを開催し、2千人余りのお客さんが来場。メニューNo.1を決める「Tomonegungランプリ」などを行ない、とても盛り上がりました。プロジェクトの狙いは、県内外の人に「川棚といったら小串トマト」と認識してもらうこと。おいしい小串トマトを食べるに川棚を訪れる人が増えることにより、トマトの生産量も伸び、町の活性化につながると思っています。今後はもっと参加店舗を増やし、町内の全ての店で小串トマトを使ったメニューが食べられるように盛り上げていきたいですね。

### 幻の小串トマトを使った多彩な料理を楽しもう!

町内の12軒の飲食店が連携し、小串トマトを使ったさまざまなオリジナルメニューを提供中。和、洋、中華、デザート、パンなど多彩なジャンルで楽しめます。



問合せ：川棚町地域おこし協力隊 ☎080-6467-4299

### かわたな桜まつり in 大崎

毎年、たくさんのお客さんが訪れる、県下有数の桜の名所大崎半島。今年は桜の咲き始めに、ゲームイベント、地元中学校吹奏楽部の演奏、ガラポン抽選会、出店など、家族で楽しめるイベントが開催されます。



日時/3月26日(日)10時~15時  
場所/川棚町大崎自然公園がせの広場  
問合せ：(一社)川棚町観光協会 ☎0956-83-3210

## 川棚町のお土産

### 小串トマトクリン

甘くて濃厚な小串トマトとはちみつレモンの冷たいデザート。付属のスパイスをかけて、味の変化を楽しむこともできます。



問合せ：BUCO cafe ☎080-2393-7209

### 表紙のはなし『海神社』

海の安全を見守るかのように岩場に立つ神社で、「八大竜王」と書かれた鳥居と小さな祠があります。干潮時には海岸沿いの岩場を20分ほど歩いて鳥居まで行くことができ、対岸に片島公園を眺めることができます。